

—宮前区役所で初めて開催された—

# 平和のための原爆展

## 記録集



- ◇ 日時 2010年3月1日(月)～6日(土)  
8時半～午後5時(6日は12時まで)
- ◇ 会場 宮前区役所 2階 ロビー  
および4階 廊下展示コーナー  
[3/1のみ 宮前市民館 4階 第1会議室]
- ◇ 後援 川崎市教育委員会・宮前区役所  
朝日新聞川崎支局・東京新聞川崎支局  
毎日新聞川崎支局・読売新聞川崎支局  
神奈川新聞社・髭タウンニュース社  
川崎市平和推進補助事業承認

## 目次

- ① 記録集発行に際して…………… 1
- ② 出展作品と展示場所…………… 2
- ③ 展示概要と作品……俳句・短歌・川柳・詩・絵手紙…… 2～5
- ④ 賛同人のみなさん…………… 6
- ⑤ 資料…………… 7～17
- ⑥ 会場ノートより(来場者のみなさんの感想) …… 18～31
- ⑦ 「平和のための原爆展」日誌 …… 32
- ◆ 写真…………… 表紙裏



開会式 普天間かおりさんのあいさつ

区長あいさつを聞く 100名を超えるみなさん



小池汪さんの  
写真コーナー



第一会場 2階ロビー



原爆の実相を伝える写真と絵、ポスターなど



受付



# 「平和のための原爆展」記録集発行に際して

**2500名が来観 4000羽の折り鶴が寄せられました。**

3月1日から6日まで宮前区役所で開催した「第一回平和のための原爆展」は宮前区役所の2階ロビーと4階廊下展示会場、宮前市民館4階会議室（1日のみ）を会場に、約2500名が来観され、4000羽の折り鶴が寄せられました。

また、感想ノートには100名もの方々がその思いを書き綴ってくださいました。多くの賛同者の方、作品出展者の方、町内会・自治会の方々からの貴重な募金も寄せられました。寄せられた核廃絶の署名は5月に行われる国連（ニューヨーク）でのNPT国際会議に宮前区代表（2名）が届け、折り鶴は8月の広島・長崎での原水爆禁止世界大会に代表が届けたいと思います。

**賛同人は54名に 創作作品は絵手紙を含め76点になりました。**

歌手の西城秀樹さんや普天間かおりさんを始め、牧師さんや住職さん、自治会連合会長さんそして市の元幹部の方、市議員、芸術家から各界でご活躍の方々まで、賛同人は大きく広がって54名になりました。

公募創作作品も次々と届けられて嬉しい悲鳴になりました。今回はスペースが一杯になったため、次回に出品したいとお申し出もありました。川崎市・岡本太郎美術館からは大作の「明日の神話」のパネルの提供があり、話題になりました。

**記録集をお届けします。**

実行委員会は“まとめ”の会議で二つのことを申し合わせました。

- 1、期待の声にこたえる意味でも、来年も開催しよう。内容や開催時期、場所などは改めて多くの方の意見をお聞きしながらみんなで決めていきましょう。
- 2、そのためにも多くの方々からの“まとめ”記録の発行を！の声を受け—展示・開会式の風景や内容、展示会までの活動などの取り組みの特徴、賛同人や展示文・感想文の総集編—を記録することになりました。

記録集をお届けして、ご協力のお礼に代えさせていただきます。

**来年もご協力を！の思いを、改めてお願い申し上げます。  
ご協力 有難うございました。**

2010年4月吉日  
「平和のための原爆展」実行委員会

# 出展作品と展示場所

《敬称略》

## ◇ 原爆写真・被爆者が描かれた絵

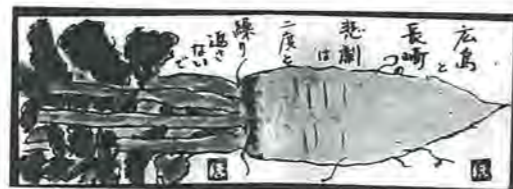
…… 2Fと4F

- ❖ 小池 汪 写真 10点 …… 2F
- ❖ 若原 弘道 俳句 …… 2F
- ❖ 北原 洋子 写経 …… 4F
- ❖ 川崎市岡本太郎美術館 「明日の神話」パネル …… 4F
- ❖ 山口 洋子 詩 「明日を託す」 …… 4F
- ❖ シオダ捷治 絵画・書画 3点 …… 4F
- ❖ 竹下 幸雄 絵画 「火を弄ぶもの」「首の桎梏を外せ」 …… 4F
- ❖ 松川 靖男 絵画 「りんご」 …… 4F
- ❖ 宮沢 佐一 絵画 「ノーモアヒロシマ」 …… 4F
- ❖ 山川 靖夫 絵画 「海ゆかば」 …… 4F
- ❖ 渡辺 徳光 絵画 「堀川」「帰還」 …… 4F
- ❖ 宮沢 暁子 版画 「失業者」 …… 4F
- ❖ 井田高一郎 写経・絵画「リトルボーイ」「きのこ」 …… 2Fと4F
- ❖ 稲田 善樹 平和百人一首 …… 4Fと3/1のみ 宮前市民館第1会議室
- ❖ さきよし 川柳 …… 2Fと4F
- ❖ ふくだゆきを 短歌 …… 2Fと4F
- ❖ 新日本婦人の会宮前支部のみなさん 絵手紙・千羽鶴 …… 2Fと4F

[3/1のみ 宮前市民館 4階 第1会議室にて] 9時～17時

- ❖ 井田高一郎 模型 「実物大のリトルボーイ」
- ❖ 松井エイコ 平和紙芝居 「二度と」 作者自身の上演  
《12時からと13時からの2回 上演》

## 開会式



開会式は3月1日11時から約100名が参加して、区役所2階ロビーで開催されました。田中実行委員長のあいさつのもと、賛同人の歌手、普天間かおりさんが「市民が力をあわせ、平和を宮前区から日本と世界に発信することは素晴らしいこと」とのべ満場の拍手につつまれました。出展した

写真家の小池汪さんが戦争をテーマとした自作品10点を紹介し、宮前区の松下孝則区長は、自らの修学旅行での「原爆展」との出会いを語り「戦争を子どもに伝えたい」とあいさつしました。その後、竹下事務局長が会場と展示の内容の案内をし、参加者は3か所の会場に向かいました。

## 第一会場 区役所2階ロビー

第一会場には、写真家の小池汪さんの戦争に関する作品10点と俳句、川柳、短歌、写経や絵手紙と合わせて原爆被害の写真23点を展示しました。ロビーに常設してある展示パネル3枚だけでは展示スペースが足りず、市民館からも5枚お借りし、その上に企画展示委員会が高さ2.5メートル幅3.6メートルのパネルを製作しました。

された方のほか、区役所待合ロビーに隣接した場所のため、区役所に用事があったり来訪された市民の方々が、原爆展開催に気がついて展示物をじっくり見て行かれるケースも多かったです。平和への関心の高さを示す出来事でした。受付に募金や核廃を絶願う署名、たくさんの千羽鶴を届けていただく方も多く、その場で賛同人になることを申し込まれる方もありました。

## 第二会場 4階廊下展示スペース

展示スペースとしては2階ロビーの倍近い壁面があり、大型の展示物も可能であるため、企画展示委員会としては、腕の見せどころでした。幸いに絵画、書画、川柳、俳句、短歌や写経、百人一首からリトルボーイの原寸大の絵に絵手紙など多数の創作作品に加え、岡本太郎美術館のご好意による「明日の神話」解説パネルの提供もあり、35枚の原爆被害の写真と合わせて大変素晴らしい内容の展示になりました。企画展示委員会としては作品をクロスの壁面に直接吊る手法は取らず、背景に白いボードの大型展示パネルを吊りその上に作品を並べ

る方法を採用したのも展示のグレードアップにつながったようです。第一会場と違って、4階は一般の市民にとってはあまりなじみのない場所だけに、開会するまではたして参観者が来て下さるか不安な部分もありましたが、ちょうど確定申告の時期で、4階会議室が申告会場となっていたため、多数の市民の方々が申告のあと、展示物をご覧になっていました。また2階に比べて落ち着いたコーナーがあるため、感想文を腰を落ちつけて書いて下さる方が多かったのも印象的でした。



## 第三会場と平和紙芝居「二度と」の上演

第三会場となる市民館4階第一会議室では、壁画家の松井エイコさんによる自作の平和紙芝居「二度と」の上演がありました。会場に入りきれない参加者のために、上演は二回に分けて行われ、参加者は真剣なまなざしで聞いていました。上演後には、参加者は松井エイコさんを囲み、被爆の悲惨さと平和の大切さを語りあいました。

第三会場には、話題となった原寸大のリトルボーイ模型も飾られ、また、区役所4階だけでは展示しきれなかった平和百人一首も展示されました。平和紙芝居が上演されていない時間には、参加者は主催者が用意した、テレビで放映された第五福竜丸に関する番組などの映像に見入っていました。



キノコ雲二度浴び嘆き雲に臥す(広島・長崎で二重被爆九三歳)  
 白星と怪我を重ねて八〇八(天皇喜内新記録)  
 伸び盛り滑るオカッパ傷くメダル(スケート高木美帆一五歳)  
 鍵盤で見えぬ世界を魅了する(全盲の辻井ピアノニスト世界一)  
 平和道いラクダに乗って黄泉の旅(平山画伯道く)  
 最年少白黒つけて名人位(囲碁の井山九段二〇歳)  
 廃絶で志位とオバマのエール劇(ブラハ演説の評価)  
 横綱の引きに負い目の幹事長(角界と政界の実態)  
 虐待の親をかばって天の園(小学一年生の凄惨)  
 世代車ブレーキ曳かれエコ陰る(トヨタ車のリコール)

短歌 ふくだゆきを

基地横須賀  
 空から 海から わが国土汚されるて、星条  
 旗立つ いく百の基地  
 デモの旗映せる水面 やはらかにふくらみて  
 見ゆ。上げ潮となりて  
 手をつなぎ 道いつばいの連帯感。「基地を  
 返せ」の速きよめき

ジユゴン樓む滝

さりきりと胸いたむほど、仲繩は、肩寄せ合  
 ひて 基地のなかの街  
 「基地なくせ 平和を返せ」 はるかまで滝  
 美しき鳥よ。仲繩  
 ジユゴン樓む滝にあらたな基地つくる アメ  
 リカの意図。地球のどこまで  
 仲繩の死闘の様に 息を飲む。ガイドの声も  
 うるみて聞こゆ  
 ブーゲンビリアのアーチがつづく 雨のなか  
 唯一地上戦たりし仲繩  
 「仲繩を返せ」とうたふ。この基地は、鋭剣  
 のもと強奪されし土地

署名をください

大宇宙にただ一つ 核に焼かれたる国あり。  
 太陽系第三惑星  
 あの日と同じあつき八月。思ひこめて、反核  
 署名のマイクを握る  
 猛暑いつまで。妾なき女の子 とびらをたた  
 く 「署名をください」

「明日を託す」

山口洋子

岡本太郎・作品「明日の神話」に よせて

八月六日  
 終戦まぢかの広島町  
 誰も想像できなかつた  
 原子爆弾の炸裂  
 烈風が地に百熱を呼び寄せ  
 空飛ぶ鳥はメラメラ燃え尽き  
 炭と化し落下する  
 獣を追いつめる赤黒い舌炎  
 海はどす黒く逆まきうねり  
 魚と漁船を翻弄する  
 むきたされた人骨は厚みを加え  
 世界へ無数に突き出される  
 しらく浮きだす頭蓋骨は  
 訳しらぬ理不尽に傾き  
 えぐられた眼孔は真つ赤に燃え  
 怒りの極限を現している

人間が燃えている  
 人間が生きながら燃やされている  
 5.5メートルの縦幅  
 巨大な30メートルの横幅から  
 幾万言の言葉を超え  
 岡本太郎のメッセージが吹き上がる  
 八月の東京の町を訪う人々に  
 太郎の心が語りかける  
 人類への限りない信頼と希望  
 灼けただれた人間が昂然と立ち上がり  
 明日に捧げる賛歌をうたう  
 ひたむきに誇らかに  
 のびやかに胸そらし  
 暴虐に負けない精神が放射している

俳句 若原 弘道

震ふ手の非核署名や原爆忌  
 日の丸に直立不動春寒し  
 下萌や鉄条網の内外に  
 青芒河馬と仔河馬の疾走す  
 秋晴にすつと歩幅の広がりぬ



# 賛同人のみなさんです (50音順・敬称略)

- ❖ 青木 悦子 (宮崎 元宮崎6丁目自治会・会長、元「女性の市長をつくる会」候補)
- ❖ アキシ ロロピアナ (鷲沼 サレジオ学院幼稚園・園長)
- ❖ 荒井 利夫 (犬蔵 学校法人健爽学園ゆりかご幼稚園園長)
- ❖ 飯田 満 (神木 市会議員)
- ❖ 石川 建二 (土橋 市会議員)
- ❖ 石川 正士 (菅生 新日本スポーツ連盟神奈川県連盟・理事長)
- ❖ 石田 康博 (神木 市会議員)
- ❖ 井田 高一郎 (神木本町 きのご研究家)
- ❖ 岩崎 君江 (有馬 発達障がいコミュニティ・クローバー・代表)
- ❖ 植木 育夫 (平 <有> マシ技研・代表取締役)
- ❖ 植田 泰治 (平 映画プロデューサー)
- ❖ 江戸 實 (菅生 元川崎市経済局長)
- ❖ 櫻戸 新平 (五所塚 元日本社会事業大学・参与)
- ❖ 大久保 廣美 (野川 天台宗 西蔵寺・住職)
- ❖ 小池 汪 (宮崎 写真家)
- ❖ 小泉 一雄 (五所塚 元川崎市下水道局推進対策室長)
- ❖ 加藤 浩照 (野川 天台宗 影向寺・住職)
- ❖ 川島 芳茂 (宮前平 社会福祉法人みのり会・理事長)
- ❖ 工藤 正興 (有馬 宮前区全町内・自治会長連合会・会長)
- ❖ 小森 彰子 (五所塚 茶道教授)
- ❖ 西城 秀樹 (有馬 歌手)
- ❖ 齋藤 良夫 (五所塚 さきよし・元川崎市衛生局長・健康福祉局長)
- ❖ シオダ 捷治 (東有馬 漫画似顔絵)
- ❖ 島田 和子 (宮崎 書家)
- ❖ 島田 正治 (宮崎 墨画家)
- ❖ 白田 武美 (犬蔵 神奈川県建設協同組合・理事長)
- ❖ 平 千春 (平 センチュリー悠悠会・会長)
- ❖ 滝川 雅幸 (野川 富士スーパー上野川店・店長)
- ❖ 田中 次生 (鷲沼 カトリック鷲沼教会・神父)
- ❖ 寺内 重夫 (白幡台 ことばとかたちの部屋・民話研究家)
- ❖ 中島 有淳 (神木本町 天台宗 等覚院(つつじ寺)・住職)
- ❖ 長沼 土朗 (宮前平 放送人の会・幹事)
- ❖ 中山 直子 (馬絹 アルファ税務会計事務所・所長)
- ❖ 林 伸郎 (けやき平 立教大学名誉教授)
- ❖ 原 寿幸 (菅生 元川崎市建築局長)
- ❖ 平井 靖雄 (菅生ケ丘(株) 光陽エンジニアリング・代表取締役)
- ❖ 平澤 太朗 (東有馬 川崎市有馬・野川生涯学習支援施設・館長)
- ❖ 平田 安男 (神木本町 アマ将棋4段)
- ❖ 藤田 澄和 (野川 野川南台コミュニティバス協議会・代表)
- ❖ 普天間 かおり (上作延 歌手)
- ❖ 不破 勝美 (東有馬 恵みの丘キリスト教会・牧師)
- ❖ 町田 順文 (初山 日蓮宗 本遠寺・住職)
- ❖ 松岡 かおる (鷲沼 鷲沼地域の住環境を守る会・代表)
- ❖ 松橋 武志 (平 ゆうあいクリーニング経営)
- ❖ 三田 和伸 (平 元消防職員)
- ❖ 宮沢 暁子 (平 木版画家)
- ❖ 宮沢 佐一 (平 画家)
- ❖ 安岡 重高 (東有馬 有馬療養温泉旅館・代表取締役)
- ❖ 山川 靖夫 (神木本町 川崎文化会議)
- ❖ 山口 和正 (犬蔵 田園宮前チャペル・牧師)
- ❖ 山田 紀男 (平 自営業)
- ❖ 山田 治和 (平 前川崎地区郵便局長会・会長)
- ❖ 山中 淳子 (宮前平 社会福祉法人みのり会・常務理事)
- ❖ 横森 幸彦 (東有馬 NPOカンアオイ・アリーノ・理事長)



展示開催中にも賛同者が増え、最終的には54名になりました。  
ご支援ご協力に感謝申し上げます。

# 資料集



- (1) 「平和のための原爆展」を開くにあたって
- (2) 核兵器廃絶平和都市宣言(川崎市)
- (3) バラク・オバマ大統領のプラハ演説
- (4) 原爆投下と核廃絶をめぐる動き
- (5) 広島・長崎への原爆投下とは
- (6) 今ある世界の核兵器
- (7) 実行委員会ニュース
- (8) 協力お願いの呼びかけ
- (9) 川崎市教育委員会・宮前区・平和推進事業関連
- (10) マスコミ各社への後援依頼および決定通知書
- (11) アピール署名
- (12) 報道記事

## 「平和のための原爆展」を開くにあたって

広島・長崎への原爆投下からまもなく65年、ピキ二環礁での水爆実験により被災した第五福竜丸の事件から56年を迎えました。

今、私たちのまわりでは、被爆者の高齢化と若い世代の増加により、被爆の実相が伝わりにくい状況になっています。一方世界では2万3千発とも2万6千発ともいわれる原爆が存在しています。一瞬にして廃墟となった街、高温と熱風、放射能の被害など、その一端であっても、写真・絵を見て感じていただきたいと願い、この展覧会を計画しました。あわせて、宮前区民の平和への願いをしめしたいと思い、さまざまな立場で表現した作品を公募し、展示しました。

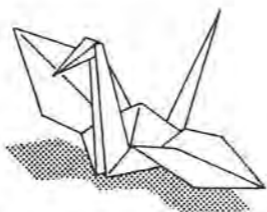
「核兵器をなくしたい」の思いは、誰でもあたりまえの願いですが、川崎市では他都市に先駆けて、1982年に「核兵器廃絶平和都市宣言」を発し、平和館を持って平和への発信をつづけています。09年4月のプラハでの米オバマ大統領が「核兵器を使用した唯一の国として米国には行動する道義的責任がある」「私は、核兵器のない世界の平和と安全を追求する」と演説し、世界の核をめぐる雰囲気を変えてくれました。

また9月には、政権交代した鳩山首相も国連安保理で、被爆国の首相として核兵器のない世界に向けて全力をつくすことを言明し「核兵器のない世界の条件を創る」ことをもりこんだ決議が採択されました。「核兵器廃絶」にむけて、世界がおおきく動いています。

宮前区では、08年秋に「原水爆禁止宮前区協議会」が発足し、草の根の核廃絶の運動をつづけてきました。09年秋になって、宮前区役所で初めての原爆展を開くために、思想・信条をこえた実行委員会を呼びかけ準備をすすめてきました。教育委員会・宮前区役所、主要新聞社の後援をいただき、50名を超える賛同者が名乗りをあげてくださいました。準備の過程で、賛同いただいた方をはじめ、川崎市岡本太郎美術館など当初予想していなかった多くの方々からご協力をいただきました。

みなさまのお力添えにこころより感謝いたします。

「平和のための原爆展」実行委員会



## 核兵器廃絶平和都市宣言

真の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の念願である。

しかるに、核軍備の拡張は依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界唯一の被爆国として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを声大にして全世界の人々に訴え、再びこの地球上に広島、長崎の、あの惨禍を繰り返させてはならない。

このことは、人類が遵守しなければならない普遍的な理念であり、我々が子孫に残す唯一の遺産である。川崎市は、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、国際社会の連帯と民主主義の原点に立って、核兵器廃絶の世論を喚起するため、ここに核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。

昭和五十七年六月八日

川崎市

## 核兵器のない世界へ

バラク・オバマ大統領 プラハ・フラチャニ広場での演説

2009年4月5日

- 今日、冷戦はなくなりましたが、何千発もの核兵器はまだ存在しています。歴史の奇妙な展開により、世界規模の核戦争の脅威が少なくなる一方で、核攻撃の危険性は高まっています。核兵器を保有する国家が増えています。核実験が続けられています。闇市場では核の機密と核物質が取引されています。核爆弾の製造技術が拡散しています。 —
- 私たちは、20世紀に自由のために戦ったように、21世紀には、世界中の人々が恐怖のない生活を送る権利を求めて共に戦わなければなりません。そして、核保有国として、核兵器を使用したことのある唯一の核保有国として、米国には行動する道義的な責任があります。米国だけではこの活動で成功を収めることはできませんが、その先頭に立つことはできます。その活動を始めることはできます。

従って本日、私は、米国が核兵器のない世界の平和と安全を追求する決意であることを、信念を持って明言いたします。 —

## 原爆投下と核廃絶をめぐる動き

1941 / 12 / 8	日本はハワイ真珠湾を奇襲攻撃、米・英に宣戦布告し、太平洋戦争開始。
	45年8月の終戦まで、世界を相手に第二次世界大戦に参戦。
1945 / 8 / 6	アメリカ、広島に原爆投下。
8 / 9	同 長崎に原爆投下。
8 / 15	日本、ポツダム宣言を受諾、終戦。連合軍（アメリカ占領軍）による日本統治。
1946 / 1 / 24	国連総会「原子兵器その他の大量殺戮兵器の廃絶を求める第1号決議」採択。
1947 / 5 / 3	日本国憲法施行
1950 / 3 / 25	世界平和擁護大会が、原爆禁止を要求する「ストックホルムアピール」発表。
6 /	朝鮮戦争開始、アメリカ・トルーマン大統領は、「原爆使用」に言及。「ストックホルムアピール」署名は、8カ月の間に5億人に達した。日本では、非合法のもとで取り組まれたが、全国で645万人が協力した。 〈百万の署名は平和の敵は無視する。千万の署名は平和の敵を激怒させる。億の署名は平和の敵を黙らせる〉（英国教大僧正、ヒューレット・ジョンソン）
1952 / 4 / 28	サンフランシスコ平和条約発効、日米安保条約締結（日本の占領状態終結）
1954 / 3 / 1	アメリカのビキニ環礁の水爆実験により、第五福竜丸など日本のマグロ漁船が被曝、半年後久保山愛吉さんが死去。この被災は、広島・長崎への原爆投下への憤りと結び付き、原水爆禁止を要求する全国的な署名運動が開始された。署名はわずか1年間で当時の日本人口9000万人の1/3、3200万人に達した。
1955 / 8 / 6	第1回原水爆禁止世界大会開かれる。
1956 / 12 / 14	日本 国連加盟承認
1960 / 6 / 18	日米新安保条約成立

以後〈1949年ソ連、52年イギリス、60年フランス、64年中国で核実験に成功。核開発競争に〉

66年初～のベトナム戦争、80年代のミサイル開発による核軍拡競争等何度も核兵器の使用の危機があった。そのつど世界的な「核兵器使用反対」の世論が大きく広がった。

## 広島・長崎への原爆投下とは

- 1945年（昭和20年）アメリカは、8月6日・広島に、9日・長崎に世界ではじめての原爆（原子爆弾・当時は新型爆弾とよばれた）を投下した。
- ◎ 広島は、市人口35万人（推定）のうち14万人～15万人が、長崎は、24万人（推定）のうち7万人～8万人が死亡した（45年末まで）。
- ◎ それまで戦争で使われていた爆弾は、主に火薬（TNT火薬）だったが、その最大の爆弾とくらべても、原爆は1発で2000倍の威力を持つものといわれている。
- ◎ この爆弾のエネルギーは、爆風（衝撃波）・熱線・放射線として放出された。
  - 爆風——爆発の瞬間の爆発点の気圧は数十万気圧に達し、これが爆風を発生させた。爆心地における風速は、音速（349m/s）を超える爆風であり、前面に衝撃波をとめない爆心地の一般家屋のほとんどを破壊した。爆風は、台風の風速と比較すると強い台風の中心風速の約10倍、エネルギー比では台風の暴風エネルギーの1000倍の爆風といわれる。
  - 熱線——核分裂で出現した火球の表面温度が数千度に達し、地上から数百メートルの高さに第二の太陽が現れたことに相当する。熱線は、赤外線として、爆発後約3秒間に大量に放出された。爆心地の地表が受けた熱線は通常の太陽の照射エネルギーの数千倍に相当する。爆心地付近の地表は、3000℃～6000℃に達し、屋根瓦は溶けて泡立ち、木造家屋は自然発火した。
  - 放射線——核分裂反応により大量のアルファ線・ベータ線・ガンマ線・中性子線が生成され、地表には透過力が強いガンマ線と中性子線が到達した。放射線は目でみえないが、原爆投下後広島赤十字病院の地下に残っていた未使用のレントゲンフィルムが、放射線によってすべて感光していたため、この新型爆弾が原爆だと決定づける証拠となった。（以上原爆の威力についてはWikipediaを参考）
- この爆風・熱線・放射線の3つのエネルギーとその後の二次災害放射能被曝による原爆症、それに起因するガンなどの病気により、想像を絶する甚大な被害もたらされた。
- ここに展示されている写真は、65年前の被害の一端を切り取った貴重な記録である。正視しにくいむごい写真もたくさんあるが、事実の記録として見ていただきたい。

## 世界のどこにあるの？



# 平和のための原爆展

実行委員会ニュース NO. 1  
2009年12月28日  
【ニュース・チラシのメール送付希望は】  
helwamiyama@gmail.com

## 情報をお知らせ!

- 開催の経緯
- 展示の趣旨
- 展示の場
- 展示の時間
- 展示の場所
- 展示の料金
- 展示の予約
- 展示の問い合わせ先

## 平和のための原爆展への 후원者の皆さまです

氏名	金額
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円

「原爆展」詳細  
 ●日時 2010年3月1日(月)～6日(土)  
 ●時間 9:30～5:00(日)は12時まで  
 ●会場 宮前区役所 2階ロビー  
 及び4階地下展示コーナー  
 ●応募券 (みなさんのアイデア募集!)  
 ・応募に貼下された原爆の映像写真でも結構  
 ・みなで千羽鶴を折ろう! などなど  
 ●第3回実行委員会は、  
 1月17日(日)10～12時  
 市民館グループ室  
 実行委員会参加者募集中!  
 ぜひ、ご参加ください!



連絡先： 竹下幸雄 (853-1924) ・ 寺川幸子 (865-7637)

# 平和のための原爆展

実行委員会ニュース NO. 2  
2010年1月10日  
【ニュース・チラシのメール送付希望は】  
helwamiyama@gmail.com

「平和のための原爆展」の成功を期待します  
**賛同人のみなさんです** (執筆 50音順)  
 実行委員会ニュース NO. 2  
 2010年1月10日  
 賛同人のみなさんです  
 (執筆 50音順)  
 実行委員会ニュース NO. 2  
 2010年1月10日  
 賛同人のみなさんです  
 (執筆 50音順)

山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円
山崎 敏夫	10000円
山崎 敏子	10000円

連絡先： 竹下幸雄 (853-1924) ・ 寺川幸子 (865-7637)

ニュースは号外も含め、  
6回発行しました。

# 「平和のための原爆展」の成功を期待します

## 賛同人のみなさんです

実行委員会ニュース NO. 2  
 2010年1月10日  
 賛同人のみなさんです  
 (執筆 50音順)



### 資料 7 実行委員会ニュース



# 平和のための原爆展

実行委員会ニュース NO. 3  
2010年2月16日  
【ニュース・チラシのメール送付希望は】  
helwamiyama@gmail.com

企画・制作員 着々すすめ!  
 実行委員会ニュース NO. 3  
 2010年2月16日  
 企画・制作員 着々すすめ!

賛同人の皆さまに増えました!  
 開会式  
 予定  
 平和のための原爆展  
 実行委員会ニュース NO. 3  
 2010年2月16日

連絡先： 竹下幸雄 (853-1924) ・ 寺川幸子 (865-7637)

# 平和のための原爆展

実行委員会ニュース NO. 5  
2010年3月2日  
【ニュース・チラシのメール送付希望は】  
helwamiyama@gmail.com

## 展示作品 をご紹介します。どれも平和への思いが込められた 文化の薫り高い力作です。ぜひ ご覧ください!!

- ◆ 小池 汪 写真展  
 展覧に賛同していただいた宮前区内在住の写真家、小池汪さん(2006年に川崎市文化芸術賞)が「平和のための原爆展」のために撮影された作品10点をまとめた展示品を展示しました。今後の原爆展のシリーズ第一弾としてあわせて展示したいと思います。お問い合わせは、2階に展示しています。
- ◆ 絵画・版画  
 シオダ美佐子さん、竹下幸雄さん、松川雄馬さん、呂沢一さん、山川雄夫さん、渡辺光さん5氏の絵画と松川雄馬さんの版画は4階に展示します。
- ◆ 俳句・川柳・短歌・写経  
 石原弘治さんの俳句、さきよしさんの川柳、ふくだゆきさんの短歌を味わってください。また、北野洋子さん、井田高一郎さんには写経を拝見していただきました。心静かになるときを!
- ◆ 平和百人一首  
 平和をうたった和歌と俳句が描きつけて84羽の色紙にしたものが100枚あります。4階に展示しますが、一度しか展示できないので、展示は3会場まで3/1の一日だけ展示します。
- ◆ 装金  
 皆さまのご協力に感謝申し上げます。  
 改めてより一層のご協力をお願いしたいと思います。
- ◆ 署名  
 「被爆をなくすために」の国際署名にご協力ください。国連に掲げます。



- ◆ 展示企画  
 2階ロビーと4階廊下展示会場をあわせて、75点に及ぶ展示品を展示します。また、宮前区民のみなさんからの公募制作作品「写真・絵画・短歌・俳句・川柳・平和百人一首」など70点の作品を展示します。
- ◆ 被爆の写真と絵  
 川崎市平和館から借りた原爆投下当時の広島・長崎の写真や、被爆者が描かれた絵などを展示します。どれも被爆の実感を伝えます。
- ◆ 岡本 太郎 作「明日の神話」パネル  
 1966年メキシコで描かれた巨大壁画「明日の神話」の複製を展示しています。平和のための原爆展の運営に賛同していただき、川崎市・岡本太郎美術館に現在展示中のパネルを、そのまま4階に展示していただくことになりました。「明日の神話」の複製とその複製を中央に配置し、「明日の神話」につづいている8つの作品と複製などが複製された複製品パネルを、幅1.5m高さ3mのパネルは迫力満点です。今回は、野川匠生の山口洋子さんの「明日を託す」とセットで展示していただきます。4階に展示します。
- ◆ 平和紙芝居・リトルボーイは市民館で!  
 第三会場 (宮前市民館4階の第1会議室)では、3/1(月)11時からの開会式終了後、12時と13時からの2回、平和紙芝居「二重と」を上演します。1日のみの上演ですのでぜひお見逃しなく! 3/1「リトル・ボーイ」もお見逃しなく、朝9時から午後5時まで1日のみ展示します。また、「平和ピデオ」も上映しますので、ぜひお立ち寄りください。

連絡先： 竹下幸雄 (853-1924) ・ 寺川幸子 (865-7637)



資料 8 協力お願いの呼びかけ

右の呼びかけ文とチラシをもって、「賛同人になってください」とお願いして歩きました。すべての宮前区町内・自治会と小・中・高校及び作品出品者のみなさんにも協力お願いを送付しました。

初の宮前区役所での「平和のための原爆展」成功に お力をお貸しください

ぜひ「賛同人」になってください

2009年12月吉日  
「平和のための原爆展」実行委員長 田中 光雄  
(宮崎在住・一級建築士)  
電話・FAX 855-0865  
原水爆禁止宮前協議会 事務局長 竹下 幸雄  
(けやき平在住・日本美術会会員)  
電話・FAX 853-1924

日ごろのご活躍に敬意を表します。  
突然のお願いで失礼いたします。草の根の「思い」として御容赦ください。  
私たちが宮前区で「草の根の平和の市民運動」を開始してから1年有余になります。まだヨチヨチ歩きですが、2009年5月には松下宮前区長さんの励ましを受けて、宮前区で初めての区民100人以上が参加した、「平和の歩み」を宮前区役所から東高根森林公園までを実現しました。今回は、宮前区役所のご協力で、区役所2階ロビーと4階廊下の壁画展示スペースを中心に「平和のための原爆展」開催を企画しています。

この初めての区役所での「展示会」を成功させるために、ぜひあなた様に「賛同人」になっていただきたいのです。  
展示期間は2010年3月1日(月)～6日(土)まで、朝8時半～5時(土曜12時)に1週間です。展示企画は、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害の実態の写真パネル展示(約60点)と宮前区民の参加する「平和の思い」の「絵画」「写真」「絵手紙」「俳句・詩・川柳」などの作品出展(約40点)をお願いし、区役所で初めて1週間の、約100点ほどの展示企画の予定です。  
世界的な「核兵器廃絶・平和の願い」を受けて、川崎市核廃絶平和都市宣言をしている市民として「悲惨な原爆被害」と「平和のため」の「過去と未来」を見据えた、ささやかでも文化的な新しい企画を実現したい、思いで取り組み始めました。  
この企画は、すでに川崎市平和推進補助事業に選定され、今、川崎市教育委員会、新聞社等の「後援」の依頼をすすめています。  
この趣旨と企画、私たちの思いをご理解いただき、ぜひ「賛同人」にお名前を出させて頂きたい切にお願いするしだいです。同封の資料もご参照ください。

＜お願いごと＞  
「平和のための原爆展」成功のための「賛同人」にお名前を出さしていただけませんか。  
尚、賛同の皆様のお名前をチラシなどの宣伝物に連名で掲載させて頂きたいと思います。また、お時間がありましたら、展示期間(3月1日～6日)の間に区役所ロビーの展示会を参観していただけたら幸いです。 よろしくお申し上げます。

「平和のための原爆展」ポスター・チラシなどの  
掲示・配布のお願い

「平和のための原爆展」実行委員会  
2010年1月吉日

新しい年をいかがお迎えでしょうか。  
ここにポスター、チラシ等を送らせていただきました。

このたび、宮前区役所、川崎市教育委員会そして市内の主要新聞各社の御協力を頂き、「平和のための原爆展」を開催することになりました。また各界の区民のかたがたに、「賛同」のお名前を借せていただきました。(第1次分)  
宮前区役所のご協力で、来る3月1日より3月6日の1週間にわたり区役所2階ロビー展示室と4階の廊下展示コーナーで開催します。  
3月1日(月)11時からの開会式には松下宮前区長さんのご挨拶もいただきます。

核兵器の恐ろしさを、原爆を知らない世代のかたをふくめて、いまいちど振り返るとともに、世界的な気運となっている核兵器をなくし平和な世界をつくりたいと願う「平和のための原爆展」を開催することになりました。

ポスターは、掲示板等に掲示していただき、またチラシは役員さんや隣接住民のみならず配布していただければ幸いです。なお、ポスター、チラシが不足の場合は、必要枚数をお届けいたしますので、遠慮なくご連絡ください。  
また、参者にニュースや写真入り署名簿なども同封いたしますので活用していただければ幸いです。展示会場に「署名入れ箱」を準備しますのでよろしくご協力をお願いする次第です。ありがとうございます。

連絡先 「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中光雄 855-0865 事務局長 竹下幸雄 853-1924  
副代表 野村邦彦 777-7448 事務局 今川幸子 855-7637

「平和のための原爆展」成功のための  
賛同人・制作作品出展者の皆さんへ (ご報告とご案内)

いよいよ開催まで10日ほどとなりました。  
この度は「平和のための原爆展」の成功のために、お力添え有難うございます。  
おかげで「賛同人」の数は52名を越え、宮前区を中心に幅広い地域の方々、各地域で大きな関心と期待の注目が集まっています。また、マスコットも注目を集め、各紙からの取材も相次いであります。  
この展覧会を支えていただいております22名の賛同人の皆様は、「実行委員会ニュース」のNO3月号の裏面に掲載させていただいておりますので、ぜひご覧ください。 展覧会場にもお名前をパネルとして掲載させていただきますのでご了承ください。

制作作品出展者の方々も、川崎市文化芸術委員会の審査員・小池氏の御手紙にかかっている10点の作品「パネル展示」、川崎市岡本太郎美術館のご厚意により、現在展示中の「明日の神話」と作品解説パネルをお預りし、展示できることをはじめ、絵画・写真・川柳・俳句など約70点もの多岐な作品が寄せられています。  
展示作品出展者の「ニュース「明日」」の「展覧会作品紹介」にお名前・作品を記載させていただいております。ご厚意ください。おかげで展示作品を含めた全体で120点を越える展示となり「文化と平和の響きの高い宮前区」らしいとくみになりつつあります。

実行委員会は、草の根のボランティア中心の取り組みのため、新しい使命とともに、本展でも何らかしらの支えを求めています。ここにお願いするとともに、引き続きご協力をお願いする次第です。

宮前区役所2階ロビーと4階廊下での展示は、3月1日(月)より3月6日(土)までの1週間の展示期間があります。朝は8時半より夕方5時まで(土曜日は12時)です。お忙しい時間とはなりますが、この期間中ぜひご来場・ご来館をお願いいたします。  
3月1日(月)の11時より区役所2階ロビーにて松下宮前区長さんご挨拶、開会式を行います。ぜひご参加いただき、ご来場をお願いします。  
また、開会式後、1週間の展示期間にご来場いただいた方には、3階ロビーと4階に「賛同・賛同」のテープと推薦書が特設しておりますので、「賛同人」作品出展者である方へお名前を記入していただけます(推薦書は全員ボランティアで取り立てるためのご協力です。展示会場でお預りしていただきます。 よろしくお申し上げます。

2010年2月17日  
「平和のための原爆展」実行委員会 実行委員長 田中 光雄 (855-0865)  
副実行委員長 野村 邦彦 事務局長 竹下 幸雄 事務局 今川 幸子

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援依頼のための計画書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
原水爆禁止宮前協議会

企画(案)  
1. 事業名 第1回 平和のための原爆展  
2. 目的 川崎市の平和推進事業及び川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき宮前区民を対象に始めて「平和のための原爆展」を開催する。  
3. 日時 2010年3月1日(金)～3月6日(土) 午前8時半より午後5時まで(土曜12時)  
4. 場所 宮前区役所2階ロビー展示コーナー及び4階廊下展示コーナー  
5. 主催 「平和のための原爆展」実行委員会(原水爆禁止宮前協議会)  
6. 企画内容  
区役所ロビー・展示コーナーにて展示ボード及びパネル等にて、広島・長崎の原爆による悲惨な被害写真、絵画などを展示する。また、「川崎市の核兵器廃絶平和都市宣言」や「岡本太郎美術館の核兵器廃絶の訴え」など世界と日本とを望む取り組みとあわせ、「平和のため」の趣旨で区内の写実家、画家、絵手紙、短歌、俳句、詩、川柳などの文化的な宮前区民の作品を募集し展示する。約100点の展示企画を予定。  
7. その他  
実施が3月であり、宮前原水爆を中心に、区内の団体・個人に広く呼びかけ「平和のための原爆展」成功のため宮前原水爆を中心に平和を願う市民の協同の実行委員会方式で開催する。また区内の芸術・文化・著名人、宗教学者、など広く「賛同人」を募り共同の取り組みとする。

2009年12月21日  
「平和のための原爆展」実行委員会 代表 田中 光雄(一級建築士)  
044-855-0865  
副 事務局長(宮前原水爆) 竹下 幸雄(日本美術会会員)  
044-853 1924  
連絡先 川崎市宮前区けやき平1-2-303(竹下幸雄)

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援承諾通知書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中 光雄

川崎市教育委員会教育長 本場田 文也

平成21年12月21日付で申請のありました承諾書について、次のとおり承諾いたします。

承諾書の名称	平和のための原爆展
承諾内容等	川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき広島・長崎の原爆写真の展示及び平和のための作品の公募・展示会
承諾に当たっての条件	(1) 後援承諾は、「川崎市教育委員会」とすること。 (2) 承諾を受けた後に事業計画に変更が生じた場合、速やかに教育長へ報告し、承諾を受けること。 (3) 後援承諾通知書を送付した後に、承諾承諾に適合しない事実が判明したとき、申請書に虚偽が認められるときは教育長が取消しを必要とするときは、その取消を要する可能性がある。 (4) 上記の条件において、団体等が承諾を受けても教育委員会は一切賠償の責めを負わない。 (5) 本承諾を行うに当たって生じた事故、損害等については団体等が一切その責任において処理をしなければならない。 (6) 事業等の終了後は、事業結果について報告すること。
担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 窓口：総務(課長係) 電話(044)200-2304

資料 9  
川崎市教育委員会・宮前区・平和推進事業関連

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援申請書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中 光雄

川崎市教育委員会教育長 本場田 文也

平成21年12月21日付で申請のありました承諾書について、次のとおり承諾いたします。

承諾書の名称	平和のための原爆展
承諾内容等	川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき広島・長崎の原爆写真の展示及び平和のための作品の公募・展示会
承諾に当たっての条件	(1) 後援承諾は、「川崎市教育委員会」とすること。 (2) 承諾を受けた後に事業計画に変更が生じた場合、速やかに教育長へ報告し、承諾を受けること。 (3) 後援承諾通知書を送付した後に、承諾承諾に適合しない事実が判明したとき、申請書に虚偽が認められるときは教育長が取消しを必要とするときは、その取消を要する可能性がある。 (4) 上記の条件において、団体等が承諾を受けても教育委員会は一切賠償の責めを負わない。 (5) 本承諾を行うに当たって生じた事故、損害等については団体等が一切その責任において処理をしなければならない。 (6) 事業等の終了後は、事業結果について報告すること。
担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 窓口：総務(課長係) 電話(044)200-2304

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援承諾通知書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中 光雄

川崎市教育委員会教育長 本場田 文也

平成21年12月21日付で申請のありました承諾書について、次のとおり承諾いたします。

承諾書の名称	平和のための原爆展
承諾内容等	川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき広島・長崎の原爆写真の展示及び平和のための作品の公募・展示会
承諾に当たっての条件	(1) 後援承諾は、「川崎市教育委員会」とすること。 (2) 承諾を受けた後に事業計画に変更が生じた場合、速やかに教育長へ報告し、承諾を受けること。 (3) 後援承諾通知書を送付した後に、承諾承諾に適合しない事実が判明したとき、申請書に虚偽が認められるときは教育長が取消しを必要とするときは、その取消を要する可能性がある。 (4) 上記の条件において、団体等が承諾を受けても教育委員会は一切賠償の責めを負わない。 (5) 本承諾を行うに当たって生じた事故、損害等については団体等が一切その責任において処理をしなければならない。 (6) 事業等の終了後は、事業結果について報告すること。
担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 窓口：総務(課長係) 電話(044)200-2304

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援承諾通知書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中 光雄

川崎市教育委員会教育長 本場田 文也

平成21年12月21日付で申請のありました承諾書について、次のとおり承諾いたします。

承諾書の名称	平和のための原爆展
承諾内容等	川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき広島・長崎の原爆写真の展示及び平和のための作品の公募・展示会
承諾に当たっての条件	(1) 後援承諾は、「川崎市教育委員会」とすること。 (2) 承諾を受けた後に事業計画に変更が生じた場合、速やかに教育長へ報告し、承諾を受けること。 (3) 後援承諾通知書を送付した後に、承諾承諾に適合しない事実が判明したとき、申請書に虚偽が認められるときは教育長が取消しを必要とするときは、その取消を要する可能性がある。 (4) 上記の条件において、団体等が承諾を受けても教育委員会は一切賠償の責めを負わない。 (5) 本承諾を行うに当たって生じた事故、損害等については団体等が一切その責任において処理をしなければならない。 (6) 事業等の終了後は、事業結果について報告すること。
担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 窓口：総務(課長係) 電話(044)200-2304

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援承諾通知書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中 光雄

川崎市教育委員会教育長 本場田 文也

平成21年12月21日付で申請のありました承諾書について、次のとおり承諾いたします。

承諾書の名称	平和のための原爆展
承諾内容等	川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき広島・長崎の原爆写真の展示及び平和のための作品の公募・展示会
承諾に当たっての条件	(1) 後援承諾は、「川崎市教育委員会」とすること。 (2) 承諾を受けた後に事業計画に変更が生じた場合、速やかに教育長へ報告し、承諾を受けること。 (3) 後援承諾通知書を送付した後に、承諾承諾に適合しない事実が判明したとき、申請書に虚偽が認められるときは教育長が取消しを必要とするときは、その取消を要する可能性がある。 (4) 上記の条件において、団体等が承諾を受けても教育委員会は一切賠償の責めを負わない。 (5) 本承諾を行うに当たって生じた事故、損害等については団体等が一切その責任において処理をしなければならない。 (6) 事業等の終了後は、事業結果について報告すること。
担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 窓口：総務(課長係) 電話(044)200-2304

川崎市 教育委員会 様  
「平和のための原爆展」後援承諾通知書  
「平和のための原爆展」実行委員会  
代表 田中 光雄

川崎市教育委員会教育長 本場田 文也

平成21年12月21日付で申請のありました承諾書について、次のとおり承諾いたします。

承諾書の名称	平和のための原爆展
承諾内容等	川崎市核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき広島・長崎の原爆写真の展示及び平和のための作品の公募・展示会
承諾に当たっての条件	(1) 後援承諾は、「川崎市教育委員会」とすること。 (2) 承諾を受けた後に事業計画に変更が生じた場合、速やかに教育長へ報告し、承諾を受けること。 (3) 後援承諾通知書を送付した後に、承諾承諾に適合しない事実が判明したとき、申請書に虚偽が認められるときは教育長が取消しを必要とするときは、その取消を要する可能性がある。 (4) 上記の条件において、団体等が承諾を受けても教育委員会は一切賠償の責めを負わない。 (5) 本承諾を行うに当たって生じた事故、損害等については団体等が一切その責任において処理をしなければならない。 (6) 事業等の終了後は、事業結果について報告すること。
担当課	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 窓口：総務(課長係) 電話(044)200-2304

A 教育委員会宛/後援依頼  
B 教育委員会/後援承諾書  
C 宮前区宛/後援依頼  
D 宮前区/後援承諾書  
E 宮前区宛/施設使用許可願  
F 川崎市平和推進事業  
補助金決定交付書  
G 岡本太郎記念館宛/「明日の神話」パネル貸与依頼

資料12 報道記事

読売新聞 2/19

平和のための原爆展 3月1日～6日、川崎市宮前区役所2階ロビーと4階展示コーナー。原爆投下時の広島・長崎の写真や、平和をテーマにした絵画・俳句など、同区民らの作品約120点を展示。初日は、同区役所に隣接する宮前市民館4階講堂1会議室で、実物大の原爆の模型を展示し、正午と午後1時の2回、豊田松井エゴさんの平和紙芝居「二度と」を上演。同実行委員会(044-855-0865)。

岡本太郎美術館もパネル提供



3月1～6日 宮前区役所 平和のための原爆展 主催者 反響の大きさにびっくり 岡本太郎美術館もパネル提供



核廃絶と平和訴え 6日まで宮前で原爆展 手作り原寸大模型も

タウンニュース 2/26



展示される原寸大模型と製作者の井田高一郎さん

区民手づくりの平和展 3月1日から6日まで

核廃絶と平和訴え

6日まで宮前で原爆展



核廃絶と平和訴え 6日まで宮前で原爆展

区民の平和への思い伝える

平和のための原爆展 6日まで

東京新聞 3/2

核廃絶と平和訴え 6日まで宮前で原爆展

毎日新聞川崎支局長

「平和のための原爆展」成功のための

いよいよ開催まで10日ほどとなりました。この度は「平和のための原爆展」の成功のために、ご後援有難うございます。おかげさまで、準備もすすみ、「賛同人」の皆様は52名を越え、宮前区を中心に幅広い皆様のご支援で各界、各地域で大きな関心と期待の声が広がり、区民を励ましております。この展覧会を支えていただいております52名の賛同人の皆様の一覧を同封の「実行委員会ニュース」のNO3号の2面に記載させていただいておりますので、ぜひご一読ください。展示会場にもお名前をパネルとして掲示させていただくことになっております。

制作作品出品者の方々も、川崎市文化賞受賞の写真家・小池汪氏の戦争にかかわる力作10点の写真パネル展示や、川崎市岡本太郎美術館のご厚意により、展示中の「明日の神話」のメイン作品そのものをお借りし、展示できることをはじめ、絵画・版画・短歌・川柳・写真・絵手紙など約70点もの多様な作品が寄せられています。展示作品は同封の「ニュース」号外の「展示作品紹介」に出品者のお名前・作品を記載させていただいております。ご参照ください。おかげさまで被爆写真を含めて全体で120点を越える展示となり「文化と平和の響りの高い宮前区」らしいとりくみになりつつあります。

宮前区役所2階ロビーと4階廊下での展示は、3月1日(月曜)より3月6日(土曜)までの1週間の展示期間があります。朝は8時半より夕方5時まで(土曜日は12時)です。お忙しい時期とは存じますが、この期間中にぜひご観覧・ご鑑賞を願うとともに、貴社での取材・報道をいただければ幸いです。

3月1日(月曜)の11時より宮前区役所2階ロビーにて「展示開会式」を行います。この場も活用していただければ幸いです。また、開会式を始め、1週間の展示期間にご来庁いただいた折には、2階ロビーと4階に「受付・案内」のテーブルと担当者が待機しておりますので、一声おかけください幸いです(担当者は全員がボランティアで毎日交代のためご協力をお願いします。よろしくお問い合わせ申し上げます。

「平和のための原爆展」実行委員会 実行委員長 田中 光雄 (855-0865) 副実行委員長 野口 邦彦 (777-7446) 事務局 今川 幸子 (865-7637)

資料10 マスコミ各社への取材・報道依頼 および 後援決定通知書

「平和のための原爆展」実行委員会代表 田中 光雄 「平和のための原爆展」後援申請について 2010年1月27日 読売新聞川崎支局 支局長 石山 和彦

上記事項について後援いたします。使用名義は「読売新聞川崎支局」をお願いいたします。ご協力をお願いいたします。本社の後援がございましたら、資料をお送りいただき、ありがとうございます。

田中 光雄 「平和のための原爆展」後援を依頼します。

発行日: 2010年1月15日

ご通知

●電話番号 = 100016 ●Eメール = 平和のための原爆展

●本社会員会合での審議の結果 <掲載・後援・協賛>と決定しました。以下の条件をご承諾ください。

神奈川県 企画事務局 〒231-8415 横浜市中区人形町2-23 TEL: 045-227-0783

アピール: 核兵器のない世界を 2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて

21世紀のいまも、2万6千発の核兵器が世界の平和と安全を脅かしています。ヒロシマ・ナガサキの悲劇が示すように、核兵器の使用は一瞬にして無数の命を奪い、後代を絶えて人びとを苦しめ、文明を破壊します。

被爆者は「人間と核兵器は共存できない」と警告し続けています。核兵器による新たな犠牲をつくりだしてはなりません。人間の生存と子どもたちの未来のために、人びとの連帯した行動によって、核兵器のない世界を実現しましょう。

2010年の核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけて、核保有国には2000年5月の核兵器廃絶の「明確な約束」を実行することが求められています。私たちは、核保有国をはじめすべての国の政府がすみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結することに合意するよう呼びかけます。

Table with 4 columns: Name, Address, Amount, etc.

このアピールは、2009年8月、広島に集まった世界の平和運動の代表が署名で呼びかけました。この署名は世界の国々で進められ、2010年、ニューヨークで開かれる核不拡散条約(NPT)再検討会議に提出されます。

資料11 アピール署名

2010年のNPT再検討会議は、5/3から5/28までニューヨークの国連本部で開かれます。全国で、1200万筆(人口の1割)をめざしてとりくまれています。

# 来場者のみなさんの感想です

◆ オープニングに参加しました。普天間さんの話しも、松下さんの話しも心にしみこむお話しで、平和に対する皆さんの思いが伝わってきました。一回だけでは物足りないので、また向います！

◆ 平和のための原爆展の成功おめでとうございます。初めての原爆展とはいえ、はば広くいろいろな方に声をかけての原爆展で感心しました。高津でも原爆展をやり10年以上になりますが、参考にしたいと思います。  
(高津区在住 ふみこ/じんの)

◆ 現在2児の母です。親となった今、子供たちに明るく健やかな未来を・・・そして、戦争を時代だからと戦って下さった先人の方々の死を絶対に無駄にしないと心に思い世界平和を望みます。今問題になっている沖縄基地問題。この提示を見せて頂いたら Yes とは言えません。No と言える世界を……

◆ 写真を見ているだけで胸が苦しくなった。戦争はもうやめて欲しい。

◆ これから生きる人達にも伝えてゆきたい歴史の事実！平和を守る大切さを痛感します。ありがとうございました。(やすこ)

◆ おめでとうございます。文化の香り高い平和のための原爆展。宮前区のみなさんのとりくみに感謝申し上げます。(きみえ)

◆ 2010年1月にひめゆりのどうを見学してきました。戦争の悲惨さ、原爆のおそろしさを学びました。(みぎ)

◆ 宮前区役所はじめ幅広い個人の協力で成功させたことに敬意を表します。また感動しました。また、宮前区に文化人が多いのにもあらためて感じました。(カ)



◆ 私たちが人間で生き物である以上、争いをなくすことは不可能かもしれないし、戦争をなくす事はキレイ事にすぎないのかもしれない。しかし、戦争によって尊い命が失われていくのを仕方がないとはとても思いません。たしかにキレイ事かもしれないけど、そのキレイ事を実現するために、様々な世代の人々に戦争のひどさなどを伝えていくことが大切だと思いました。(19才 男性)

◆ ばあばあはの望みはかわいい孫の世代に戦争と貧困の時代を手渡さないこと。一人の歩が今どんなに大切か、日々思いをあらたにしています。

◆ 平和のための展示会、市長がリトルボーイの実物大模型を1日だけの展示しか認めない、署名も認めないという。平和都市宣言は泣いている。3月に行くことはすばらしい。税の申告の時期に合わせてやれば当然人が多く集まり、力が増加する。  
平和は見ているものではなく守り話し続けるもの。署名運動は必ず必要。(かつとし)

◆ 新かながわで展示のことを知り見にきました。リトルボーイの実物大を見てみたく。幅広い実行委員会での主催、すごいですね。中原の地でも開催したく、写真もとらせていただきました。また、お聞かせ願いたい事もあります。その時はよろしく。私も若い世代にしっかり伝えたく努力しているところです。(中原区在住 すみこ)

◆ 今年の暮から大学生になる男性です。小中高の歴史の教科書などで戦争や原爆の絵や写真は見てきましたが、ここまで原爆の悲惨さをとらえた写真や言葉は初めてです。大学で機会があるならば戦中の資料などを集めて読んでみたいです。ありがとうございました。

◆ 区役所に用があり、すすめられて原爆展を見ました。3月の初めの寒い中を担当の人たちが熱心に親切に案内してくださいました。平和な日が、長く続くことを心から願っています。(ひらつか)

◆ たおれて目を見開いている女性がいっぱい何を思っていたのか。つらくて見てられない。核兵器をなくすことが、その人達への最大の努力となる。(神木在住 62歳 男性)



◆ 宮前区民のみなさん 平和へ気持ち(思い)を)結集し合って企画された展示 よく区民に訴えて、平和・反戦への願いを強く思った展示会でした。ありがとう。  
・岡本太郎氏の「明日の神話」初めて見ました。各作品をねりあげての平和の思いが伝わってくる作品、いままでむずかしい作品わかりにくいと思っていましたが、地元溝の口生まれの太郎氏にほこりをもてます。(はやみず)

◆ 3・1のピクニテ参加博りに噂をきいてこちらの展示を見に来ました。区役所のロビーで、市民講習会場の横でこのような展示がなされるなんて！スゴイ！！ですね。神戸では考えられません・・・毎年開催できたら素敵ですね。ありがとうございました。(神戸市在住 かよ子)

◆ **広島で育ちましたので、ぜひにと思って見に来ました。**川崎でこのような展示が見られると思っていませんでしたのでとても嬉しいです。改めて原爆のおそろしさを認識すると共に、周囲にも伝えていかなければと思いました。小学生の子どもがいます。本当は広島原爆資料館に連れて行きたいのですが、なかなか機会がなく、近くで開催されたのは本当にうれしいです。子どもにもぜひ見せたいので、土・日の展示時間も長くとっていただけるとありがたいです。小・中学校にもチラシを配ってください。この催しがあるのを知らない方がたくさんいらっしゃいます。

(東有馬在住 たつみ)



◆ **むごいの一言です。**平和を守り、平和を守る。戦争は絶対にNOです。実行委員会のみなさん、ご苦労様です。(みやざわ)

◆ **私は山梨に住んでいまして甲府の空襲を見ています。**家の近くに防空壕を作って、大豆をいったものを缶に入れて持って逃げ込んだ記憶がいっぱいあります。今この原爆展を見て悲しくてなりません。こんな事は二度とあってはいけないと思います。(60代後半 女性)

◆ **原水爆は非運すぎる、ムゴすぎる。**早くこんな物がなくなる日が来てほしい。

(40代 男性)

◆ **原爆展を拝見しました。**二度と戦争はあってはならない、核保有国は何がなんでもはいぜつしなければなりません。私はそう思いました。

◆ **涙が出てとまりませんでした。**たくさんの人に見てもらいたいです。特に若い人達に見てほしい。声をかけます。(70代 男性)

◆ **原爆展を見まして、本当に原爆の恐ろしさに言葉にならず、只合掌して祈るばかりです。**この様な悲惨な戦争は二度と繰り返さぬ様にたく思っております。沢山の資料ありがとうございました。この展示会で俳句を詠みましたので2句紹介します。

「原爆展 目に焼きつくや 原爆忌」

「原爆展 心にきざむ 原爆忌」

(神木本町在住 S.K 70代)

◆ **確定申告室の所に展示があつてたくさんの人に見てもらえるなと思いました。**宮前区役所での展示を企画実行までの苦労と共に、展示用のパネルや木枠の製作に私は注目しました。原爆リトルボーイの原寸大模型を一日だけで終わらすのはもったいない。又、場所も離れたところであったことは残念です。展示の中にキノコの展示があつて、重苦しい気持ちになりがちの中にちょっと心やすらぐキノコの絵、しかしこれも核のおぞましき姿を思い起こすのですね。(神木在住 K.S 60代 男性)

◆ **別の用事で区役所をおとすれましたが「平和のための原爆展」はいけんさせていただきました。**自分は原爆のことをテレビとかでしか知りませんが、写真など目の前にするとあらためて平和の大切さを感じました。

◆ **広島出身なので見るだけでつらくて涙がでてしまいました。**企画されたみなさん、ご苦労様です。(60代 女性)

◆ **本当に辛い過去ですが、絶対に風化させてはいけない事実です。**犠牲となられた方達を忘れてはいけません。なぜならあの方達の死のうゑに私達の今があるのですから…(神木本町在住 女性)

◆ **高津でも毎年区役所で原爆展をやっていますが、こちらは見ごたえがありました。**(高津区在住 るりこ)

◆ **今の平和の世の中がとて有り難いと思つづく思われされました。**もう二度とこの国もこんなバカな戦争など止めて欲しいと思います。余りのむごさに正視出来ないような写真ばかりでした。誰が考えてんのか人が人を殺すような原爆の製造も使用も決して認めてはならないと思います。(犬蔵在住 60代 せえこ)

◆ **人は何を守るためにこのような恐ろしい物をつくるのか・・・日本でも少しずつ忘れられていってしまうのではないかと不安に思うが、ぜったい忘れてはいけない事。**二度とこのような事がおきないように、世界に発信していかなければいけないと思いました。また子どもたちにかたりついでいかなければ、この辛い現実を目をそむけないように。

(60代 女性)



◆ **3/1にも来た。**こういう催しをもっと広げて欲しい。(高津区在住被爆婦人)

◆ **いつもいつも戦争はNOと云うことを叫び続けていきたいと思っています。**このような企画を何回も何回も続けていってほしいと思います。若い人達にはより多く叫びたいと思っています。(しおだ)

◆ **私は、学校の授業で原爆のことを知りまして、たまたま今日は見にきました。**原爆の被害者の人達などの声を実際に聞く事ができたような展示でした。また見に来たいです。

(10代 男性)

◆ **広島・長崎、犠牲となった皆様の尊い生命**の上に今の日本の繁栄があることを思えば、今、私達に出来る平和への動きかけが大切であることを思います。恵まれすぎた生活の中で失われた心の問題、優しさを失くした今の若者にこそ知ってほしい現実です。こういった展示を大変と思いますが、身近で開かれることを意義あることと受けとめます。(K.N.)

◆ **私の両親は、長崎で被爆**しました。家は傾き、時計は止まり、でも山があったため最小の被害ですんだそうです。中学時代この話を聞いたとき、もしかしたら、私は生れてなかったかもしれないと思ったこと、また、泣いてしまったことを覚えています。長女である私が、無事に五体満足で生まれてくるかも心配だったそうです。今こうして自分が子ども3人生れ、幸せに暮らしていることに感謝です。もっともっといろんな人にこの原爆展を見てもらいたいです。

◆ **初めて原爆の展示を見ました。**広島にも行った事はありませんが、改めて胸が熱くなりました。戦争というだけで何でも出来るのでしょうか。恐ろしい限りです。もっと多くの人に知ってもらい、子供達にも戦争と平和の勉強をしてもらいたいです。

◆ **何も罪もない子供**の悲惨な写真を見ると二度とこの様なことは起きてはいけなと思いました。(30代 男性)

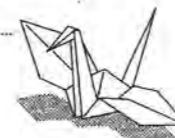
◆ **とても良い企画**でした。希望としてですが、短歌や俳句、百人一首、詩などの文芸作品を読ませていただきましたが、暗記しきれませんでしたので、こうした作品、提出者の絵画作品の写真など1冊のものにして、100円程度でも売っていたらと思いました。提出者の皆様の特に絵画や写真などに深く感銘いたしました。今後も続くことを期待しております。(Yより)

◆ **高津で見られている原爆展**とは違いを感じました。私達も5/23溝の口でイベントを計画していますが、この新しい取り組みの内容を反映できないものか考えています。今後も相談させていただきますので、よろしくお願いします。(高津区在住 たけうち)



◆ **元陸軍兵士**です。今は只々平和であることに感謝しています。83歳になりました。

◆ **せんそうのことはよくし**らなかったけれど、ここに来てせんそうのことがよくわかりました。たくさんの方が苦しみ死んだのにこれをおこした人がまちがってはいないとゆうのがゆるせないと思っし、このようなことがもう二度とおきないと思っています。(小学生 9歳)



◆ **私が初めて原爆の存在**を知ったのが上記の息子と同じ9歳の時に「はだしのゲン」を読んででした。当時はそのマンガがとて怖くて、とても気持ち悪くて、母に「でもこれが本当にあったことだから」と説明されても読み返すことができませんでした。2度目にその本を開いたのが、それから3年も経ってのことで、以降、機会にも恵まれ、広島、長崎の資料館へも行くことができました。先日、長崎の資料館を訪れたイラクの偉い方が、「戦争で核兵器は使わない」ときっぱりとおっしゃって下さったとのニュースを読み、オバマ大統領の演説と、広島 長崎に原爆が落とされて60年以上経ってようやく実現への第一歩となりそうです。これからも日本人としてこの悲劇を忘れないで、私が知ったことだけでも伝えていきたいと思っいます。  
ノーモア ヒロシマ・ノーモア ナガサキ  
(30代 女性)

◆ **原爆にあった人達**の悲惨な姿に胸がいたくなりました。

◆ **原爆展を見てあらためて原爆のこわさ**を知りました。何の罪も無い人が死ぬ様は悲し過ぎます。この先も未来永こうこの様な事が無い様に祈るばかりです。  
(元自衛隊員 宮前区在住 男性)

◆ **先日、個人的に**広島と長崎に行き、原爆ミュージアムを見てきました。宮前区でこのような原爆と平和に関する企画展をまた見ることができ、改めて戦争や原爆のおそろしさを写真や文章によって実感することができました。1回だけでなく、是非毎年続けて頂きたいと思っいます。  
(30代 女性)

◆ **広島へは一度行**きましたけど記念館は改修工事で見ることが出来なくて、今、この場で写真なり、文字で見ることによって、あのひさんな場がむごく大変なことと、あらためて、言葉であらわせない。原爆はむごい。世界の人達もじかに見てほしい。  
(60代 女性)

◆ **原子力はもうい**ません。あまっているのだから。平和でなければ子供達の夢や希望がかなうわけがありません。愛と平和！！ 忌野清志郎さんと共に！！

◆ **本当に悲惨**な見るのが辛いパネルですが、これが一瞬にして現実に起きたことです。核兵器は二度と使われてはならない、使わせてはいけないものです。広島・長崎に原爆が落ち、起こった悲劇を伝えていかなければならないと思いますし、平和のために行動を起こしていかなければとの思いを強くしました。惨状の中に絵手紙や絵画、短歌があり、心が和らぎました。

◆ **私は戦争をけいけんしました。**ざんこくです。人ごろしです。どうか二度とくりかえさない、良い政治を常をお願いします。(80代)

◆ **若い時(原爆オトサレタ)**原爆 原爆と聞いたが遠いところのデキゴトと思っていた。この日本にこんなものがオトサレ・・・あの時の思いを思い出してゼッタイ忘れてはいけないこと、世に戦争などぜったいしてはいけない。今の平和を何時までも何時までも願う。戦時をすごした女として……

◆ **平和のための原爆展!**たまらない思いが又改めて胸一杯に広がります。どうして、この辛さから日本は何も変えず変わらずにずっと過ごして来られるのでしょうか。一人一人が心の中に大事な事をもっと本気で考える日々が創れなければと思います。子に孫にもっともっと働きかけなければと今又考えました。よい展示会をありがとうございました。(K)

◆ **原爆展のお知らせ**が目に入り、被爆県出身の私は是非共参加して、平和の心をもっともっと強く決意しておりました。叔父が長崎の大浦で被爆、亡くなりました。兄である父は原爆投下を聞き、すぐ駆けつけ、弟を探し歩きました。水をくれとそでを引っ張る悲惨な姿にどうする事も出来ず歩き廻り、地獄の様子を私達子供に良く話をしてくれました。戦争程恐ろしい事はない、悲惨の二字をこの世からなくすべく私達は小さな平和から役に立てたらと思います。

(長崎出身 菅生在住 女性)



◆ **長崎で生き残った**松浦アヤ子さんの手記を読みました。原爆の瞬間、穴工場にいて生き残り、他の生き残った九州各地の勤労挺身隊員たちをつれて長崎駅へ行く道々の光景が描かれていました。今日この場で、それに当たる写真が何枚もありました。とてもよくわかりました。とても素晴らしい展示会でした。3月2日の新聞記事を見ました。(夫70代/妻60代)

◆ **父がセンソウに行った**ので、多分世界平和を願うと思いました。母が19XX、12月25日、私も広島に行った。

◆ **戦争についても**もっとよく考えなければ。原爆のむごさを世界の人達にみてもらいたい。(60代 女性)

◆ **私自身**は、小学校・中学校時代に何度か目にした、紙・詩・写真です。私達の学童期には、誰もが義務教育の場で、反戦・平和・憲法の学びを公立の小・中学校で毎年行ったのです。(小・中を大分市の公立学校で過ごしました)しかしながら、現在、私の子供達は(中1、小4)全く具体的なこのような絵・写真を目にすることはないでしょう。

“人権教育”とさかんに声高に叫ばれ、子どもの権利などさかんに活発に行われていますが、どこか空々しいのです。——というより、具体性に欠ける。

イデオロギー云々で戦争の話題をとりあげないのでしょうか。

生命と圧倒的な暴力——という戦争・核兵器への断固とした決別の意志を、若いやわらかい心にこそ刻み込まないで、教育しないで、なんとうとうとうというのでしょうか。

衣に、オプラートに包んだ方法でなく、学校(小中)でとりあげてほしい。必須教育としてほしい——人類の、日本の未来を思うなら——展示だと思えます。

(43歳 女性)

◆ **世代が変わると忘れがち**になります。子供達に見せたいので夏休みの時期にやっていただけるといいと思います。

◆ **30代女性**です。たまたま申告に来て、帰り際に原爆の写真を目にしました。痛々しくて、涙が出そうで、何とも胸が痛い気持ちです。絶対にあってはならない出来事です。

◆ **悲惨だから**といってさけていてはいけません。日本に起こったこととして子どもに伝えていくことの大切さを感じました。子どもにも見せたいです。(54歳 女性)



◆ **私は軍人になるなら海軍**とかいていたが、戦争の恐ろしさ、特に原爆は言葉に出ない光景であった。基本は戦争はしてはいけないと云う事。話し合う姿せいが大切だと思います。(60代 男性)

◆ **広島には2回**ほど行って原爆ドームを見ただけで資料館には行きそびれました。このように身近なところで写真など見られてよかったです。幸運でした。宮前区では初めての取りぐみだということですが内容が豊富でいいですね。岡本太郎の「明日の神話」もよく貸し出してくれましたね。びっくりしました。今回の催しに感謝しました。(50代 男性)

◆ **原爆ドームのそば**でみなし子となった子供の姿。胸がつまり見ていられないです。戦争の真の姿ではないでしょうか。核であれ、どんな戦争でも。(60代 男性)

◆ **広島**の平和公園も長崎にも行きましたが、今ここにいる自分が何をしなければいけないかをつきつけられた思いです。

(60代 女性)



◆ **宮前区**での初めての原爆展。きほは大きかったです。写真から原爆の悲惨さが伝わってきます。また、3・1ピキニデーでも大きな被害や被爆者が出ています。水爆実験は広島の原爆の1000倍とも言われています。このような核兵器は人類をめつ亡させると思います。

文明もこれほど進んでいるのに、今もって戦争はあります。イラクで使ったウラン弾によって、イラクではがんや白血病になる人が増加しています。アフガニスタンも同様です。かつてのベトナムで使った化学兵器が今も使われています。戦争でなく平和を。人類は互いに助け合うべきです。折り鶴に願いをこめたのが伝わればいいと思う。(なおと)

◆ **一刻も早く核のない世界**になってほしいです。僕たちのような若い世代の人にも核のおそろしさを知ってほしい。(24歳 男性)

◆ **「リトルボーイ」の実物大の絵**はすごいインパクトでした。模型はもっとすごいでしょう。日本中いや世界中に巡回させたいです。

◆ **原爆展**開かれるの知らせを聞いたりすると、じっとしていられずにおります。やはり実際の写真を目にすると、心が痛む。言葉に出来ないことです。その心をいつも胸にいただき、想いおこして物事を見ていこうと心がけていきたいとおもいました。

(幸区在住 沖縄出身)

◆ **誰でも戦争は嫌う**でしょう。私もその中の一人です。殺されるのもイヤだが殺すのもイヤだ。ましてや戦争など、お互い戦場で殺し合っている兵士だけでなく何も関係のない戦場で実際に人を殺していない民間人(日本国内であろうが国外の現地の人であろうが)まで命を落とされる。また、一瞬のピカッ!とした光を見ただけでこの世から苦しみを感ぜず去っていった人々はまだ良い。原爆はそうではなく、その後も苦しむ。戦争もまた、その時に終わったとしても、戦争によって失った家族や戦争によって受けた心と体の傷は一生なおらない。戻らない。シベリアに抑留されたという事実も消えない。そこで失った人命も帰ってこない。シベリアに抑留された人々もなぜ戦争が終わったあとも苦しめられなければならないのか。最近、北朝鮮の拉致問題が下火になっている気がしますが、シベリア抑留も立派な拉致問題だと思います。

ケロイドの写真、ヤケドの写真、人骨の写真、血みどろの絵、どれを見ても目をそむけたくなり、思わず「うわ…」といいたくなりましたが、だからこそ戦争の悲惨さを知り、戦争は絶対にしてはならないと思いました。

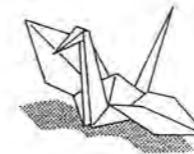
(20代 男性)

◆ **本当に刻々とせまる原爆**のおそろしさをしっかり見せて頂き、絶対使用してはいけない、又持つてはいけない兵器である事を改めてわかりました。(Oわたり)

◆ **辛くて見ていられません**……が、この悲しい出来事は後に続く者に伝えなければならないことですね。(やまぐち)

◆ **戦争は絶対に二度とあってはなりません**。こんなむごいことを二度とさせないために私たち今を生きる人たちはできること——9条を守りぬく事を通してしなければならぬことを改めて心にちかいました。亡くなられた方々に鎮魂の気持ちをこめてお誓いします。

(神木本町在住 70代女性)



◆ **広島で育って**小学校のころからいろんな話や写真を見たり聞いたりしてきました。腹にまで入って心の奥から見るのが怖くてうわっつらでみてた気が最近強く感じます。もっと感じようと思い、今日ここにきました。

◆ **戦後生まれですが**、戦争の傷あとは記憶にあります。若い人には絶対に語りつないでいかなければなりません。(62歳)

◆ **本日展示資料を拝見**させていただき、改めて戦争の恐ろしさを感じました。日本が唯一被爆国と云うことで、全世界にこのことを知らせ、この貴重な資料も是非見せてやりたい。アメリカの無差別とも云うやり方にいかりをおぼえます。非核三原則を必ず守る国の姿勢を全世界に訴えていきたい。日本国民も全員にこの悲惨さを見てもらい、改めて戦争のこわさを知ってもらいましょう。この貴重な資料ありがとうございました。関係者の方、大変お疲れ様です。(てつや)

◆ **日本人として長崎、広島**の原爆資料館は拝見なくてはと思いつつ、長崎は拝見し、広島はまだでしたので、拝見し広島の皆さまの思い 毎年原爆展を開いてくださると平和のありがたさ、原爆で亡くなられた方々への少しでもなぐさめになる気がしました。開催を賛同された方々に感謝いたします。(けいこ)

◆ **広島**の資料館に行きたいと思いつつまだ行っていません。正直、もう少し写真の展示を工夫した方が……

写真はもっと訴えるものにした方がいいし事実(死者の数字や原爆とは…)の展示も必要かと……。

広島資料館を見てきた人曰く「日本人なら一回は資料館に行くべき……！」そのインパクトの何百分の一でもあるかな〜と来たのですが……。(女性)

◆ 昨年、広島へ行き手を合わせてきました。その時は時間がなく原爆展を見ることが出来ず心残りですとひっかかっていました。今日こうして原爆展に来てよかったと思います。

今こうして生きている私、いや全てのこの世で生を受けている私達は、この原爆展を見て、生きてくても生きられなかった人達のおかげで今があることを深く考えなければならぬと思いました。

(宮前平在住)



◆ 当時私は15歳で東京の工場に働いていました。真夏のとても暑い時でも長袖を着るよう云われました。おそろしいバクダンがおとされ、たちまち焼野原になって死がいの山になってしまうことをきかされてこわかった事を思い出しました。戦争は二度となき様祈ります。

(平在住 K)

◆ たまたま4Fでの納税相談にいらした82歳男性の方が帰りに見て下さって、ご自分が14歳で特攻隊で出撃したこと、靖国参拝などさまざまな体験を話してくれました。

◆ 今原爆展を見て又改めてこわさを覚えます。戦争は絶対× 孫達にも伝えていきます。

◆ 今たまたま台所で不注意からウデにヤケドをしました。こんな小さな火傷乍ら、痛みに耐え不自由な思いをしている毎日です。被爆された方々の悲惨さは筆舌に尽くせぬものとあらためて考えさせられました。なくそう戦争！なくそう核を！！

(67歳 女性)

◆ 思い出すのも恐ろしい戦争の事です。空襲の恐ろしさを眼のあたりにした者として、絶対戦争のない世の中にしたいものです。世界平和を毎日祈っております。(けいこ)

◆ S.16生まれです。南武線の富士通の反対側に幼児時、B26のバクダンが落ちて来たのを良く覚えています。戦争は2度としてはいけない。自由、平和を奪い、貧困を生み出すもとなるのですから。特に核兵器を保有するアメリカは、率先して、兵器を廃絶して、国民の貧困、命を守る、福祉に多大な経費をまわすべきである。日米の外交を現政府は、キチンと向き合ってやってほしい。とり急ぎ。

(よしえ)

◆ 78歳男性 東京出身、12歳で東京大空襲を受けた話などされた。

「とても良い企画でした」とのこと



◆ 区内在住の40代の男性です。街角の掲示板などを見て本原爆展を知り、見に来ました。  
・これだけの展示でありながら、開催は平日の昼間と土曜の午前中だけ、とは一体どういうことでしょうか。これでは普段働いている人や学生などは本日、3/6(土)の午前中しか見に行くことができません、平日見に行ける人の多くは60才以上の、既に戦争や原爆のことをよく知っている方々ばかり、ということになってしまいます。非常に惜しいと思います。戦争を知らない現役世代、若い人達にもっと来てもらうためにも、土日の終日(夕方6時から7時頃まで)開催することはできなかったのでしょうか。

・平日と土曜の午前中しかできなかったことは非常に問題だと思います。これは、区役所側に、協力的な姿勢が今一つ足りないからではないでしょうか。人員や警備の問題もあるのですが、宮前区役所及び川崎市役所は、職員を土・日出勤させてでも、本展にもっと協力すべきだったと思います。

・リトルボーイ(広島に投下された原爆)の模型も紙芝居も、3/1(日)だけ、というのも問題です。次回は開催期間中ずっと展示等されるよう望みます。

・マスコミ各社の消極的・非協力的姿勢も気になりました。後援は朝日・読売・毎日・東京・神奈川そしてタウンニュースの各社とあ

りました。しかし記事に載せた新聞社は東京・神奈川・タウンニュースの3紙のみ。朝日・読売・毎日の各紙は本当に本展を後援したのでしょうか。・非常に良い展示でしたが残念ながら全体的に宣伝不足か？役所とマスコミに協力姿勢が不足しているように思いました。

・資金が足りないなら、もっと募金を大きく呼びかけても良かったのではないのでしょうか。

・展示の内容について。沖縄におけるアメリカの無法行為を展示したのは非常に良いことと思います。また、原爆投下も「アメリカが」と主語を明確にしたのはとても良いと思います。とかくこの種の展示会では「原爆が投下されました」「原爆で被爆しました」などと、主語(やった者)が不明確な表現が多く、これでは戦争を知らない若い人達は、誰がやったかがわからないのではないかと心配していましたから。主語(やったのはアメリカ)を明確にすることが大切だと思います。昨今の基地問題(我が国における)を見ても、アメリカの無法ぶりは目に余ります。多くの人が、もっと「アメリカが何をしたのか、今、アメリカが何をしているのか」知ってほしいので、今後も主語は明確にお願いします。

(初山在住 タヌキくん)



◆ **よくこれだけの資料を集められたもの**と感心しました。広島資料館で昨年夏ゆっくり見学できましたが、この展示でも充分原爆のおそろしさが感じられます。見学者が土・日でふえてくれるといいですね。特に若い人に見てほしいと思いました。

(60代 女性)

◆ **子どもたちに、こういうものを学校で見たり話を聞いたりする機会があれば**と思いました。

◆ **平和を願うことは、核兵器を無くすことが最大である**と思います。

◆ **これだけ多くの写真を見たのは初めての**ことでしたので、心が痛くなりました。自分の夫・子達の事を考えた時、人間てこの様な事が出来るのでしょうか。日本人として絶対に忘れてはならない事です。1人でも多くの人に见せたい悲しい写真ですね。本当に辛いです。

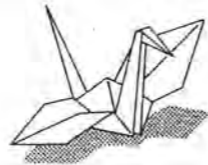
(60代 自営業)

◆ **区役所での開催、教育委員会の後援、そして多勢の人たちの作品や裏方の仕事**がわかるスゴイ原爆展・平和展ですね。中原区でも、ぜひ開けたらと思ってます。

(中原区在住 しみず)

◆ **原爆の写真は今までも見たことがあり**ましたが、今回のように原爆展という形で見るとはじめてでした。何の罪もない子どもたちの顔が脳裏にやきついてます。市民の平和を願う作品も、とても良い企画だと思います。

(62歳 女性)



◆ **岡本さんの「明日の神話」**は戦争のひさんさよりもそれをのりこえ世界にきりひらいた人間の逞しい生命力をかいたという思いがあざやかな色彩と黒の色調のなかに強くうたえられていて感動的でした。戦争の記憶はかすかに残っている私ですが平和でありたいと切望します。

(68歳 女性)

◆ **広島原爆ドーム、資料館の“影が焼き付いた写真”**との出会いは中学生の時でした。あれから40年近くたっていますが、まだ核兵器はなくなるどころか拡大されていることに、あらためて人類のおろかさやあやうさを再認識しています。父は神風特攻隊の生き残り、母は東京大空襲を経験しています。歴史が数日違ったら、私は生まれていません。このような機会を与えて下さった皆様のご苦労と努力に敬意を表します。深謝!! (60代 団体職員)

◆ **今日の平和は先の大戦の約300万人の**ぎせいによるものです。この事は一生わすれずに1日1日を大切に思い生きないと思います。(横浜市内在住 わたなべ)

◆ **私は戦争の事は写真やお話し**だけでは知らない世代ですが、このひさんな写真などを見ると、胸が本当につまって涙が出そうになります。絶対に二度と同じ事があってはならないと心の底から思います。平和を祈る俳句などは本当に心にひびいてきます。今の子供達にずっと伝えていかなくてはいけない事ですね!今回こうしてはいけんする事ができて、もう一度戦争の事を考えてみたいと思います。

◆ **世界では今でもどこかで“あらいごと”**が起きています。悲しい事にその理由が宗教である場合も多いのです。本来宗教とは人々を助けるものであるはずなのに……

日本は世界でただ一国だけの原爆の犠牲国です。その日本から世界に向けて反戦、反核を表現することはとても意味があると思います。今回の“平和のための原爆展”のような企画がもっと市民レベルに広がり続ければ日本は反戦における世界のリーダーになりえるでしょう。今回の企画、運営のスタッフの思いが伝わる とても素晴らしい内容でした。(住職)



※会場の感想ノートに記入していただいた文章を転記しました。漢字や表現はできるだけそのままに、お名前についてはプライバシーに配慮させていただきました。

「平和のための原爆展」実行委員会 活動日誌

2009年

- 10 / 12 川崎市平和推進事業 補助金申請 原爆被害パネル見学と打ち合わせ
- 11 / 29 **第1回実行委員会** 経過報告と企画案の説明と討議 実行委員会方式の承認
- 12 / 9 区役所との施設使用協議
- 12 / 9 平和館訪問 原爆被害パネル確認
- 12 / 12 区役所に対する施設使用許可の要請
- 12 / 15 第1回事務局会議 団体要請賛同人・後援準備に入る
- 12 / 19 **第2回実行委員会** 展示会場2Fと4Fの承認 企画の具体案の討議 募金
- 12 / 25 第2回事務局会議 後援の確認・賛同人進捗・予算・広報・企画の検討
- 12 / 28 実行委員会ニュース第1号発行 第1次賛同人・後援団体発表 取り組み広がる
- 12 / 30 第3回事務局会議 賛同人・後援団体呼びかけ強化、ポスター準備

2010年

- 1 / 7 第1回企画展示会議と現地調査 展示スペース確認 公募作品の確認 スケジュール検討
- 1 / 7 区役所との施設使用協議
- 1 / 10 実行委員会ニュース第2号発行 賛同人次々広がり動かしに
- 1 / 14 区役所との施設使用協議 後援 行政2、マスコミ6となる
- 1 / 14 平和館から原爆被害パネル借り受け(15日返却)
- 1 / 17 **第3回実行委員会** 実行委員会体制の確認 展示スペースと展示点数確認 予算と募金  
後援・賛同人確認 ポスター・チラシ配布 開会式 会期中体制
- 1 / 18 区役所現地調査 2階ロビー・4階廊下詳細寸法を測る
- 1 / 22 第2回企画展示会議 展示方法の検討 作品リスト検討 スケジュール検討
- 1 / 22 70の自治会・町内会、26の小中高等学校、賛同人への協力・案内の発送
- 2 / 3 新かながわ新聞など取材に来る
- 2 / 5 第3回企画展示会議 展示方法決定 作品リスト CAD展示レイアウト スケジュール
- 2 / 7 **第4回実行委員会** 第1・第2会場レイアウトと第3会場の平和紙芝居上演 賛同人確認  
募金の目標 宣伝活動と新聞報道 開会式 会期中体制と会場設営
- 2 / 11 岡本太郎美術館訪問 「明日の神話」説明パネル貸出しの了承
- 2 / 15 第4回企画展示会議 レイアウト変更 今後の作業予定 タウンニュース社など取材相次ぐ
- 2 / 16 実行委員会ニュース第3号と号外発行
- 2 / 24 第5回企画展示会議と展示準備 マジックテープ取り付け 原爆被害パネル借り受け
- 2 / 24 実行委員会ニュース第4号発行
- 2 / 26 **第5回実行委員会** 新聞報道/ニュース3号・4号・号外/区役所との最終協議/最終企画案  
設営と撤収 募金の報告 開会式詳細 会期中体制の確認 反省会予定
- 2 / 27 第6回企画展示会議と展示準備 岡本太郎美術館から「明日の神話」説明パネル借り受け
- 2 / 28 現地にて会場設営 約20人が協力
- 3 / 1~6 「平和のための原爆展」開催 2500人来観 折り鶴4000羽 100人の感想文
- 3 / 3 実行委員会ニュース第5号発行
- 3 / 12 第4回事務局会議 「予想外の募金あり赤字脱出」と会計担当から報告 みんなで拍手!よかった!  
成功の確認とお礼状などの準備開始
- 3 / 20 **第6回実行委員会** (反省会)と打ち上げ 次年度開催検討と「記録集」作成決める



岡本太郎作「明日の神話」パネル

第二会場

4階廊下

創作作品



平和紙芝居『二度と』

第三会場

実物大のリトルボーイ 絵と模型  
(広島型原爆)



展示準備風景



稲田善樹 絵・平和百人一首

# 平和のための原爆展



宮前区役所で初めて開かれる原爆展です。原爆写真・被害者の証・平和の絵・写真・標語など多数展示いたします。みなさまお誘い合わせて、ぜひごらんください。

2010年  
3/1 ⇒ 6/8 8:30より 17:00まで  
(6日は12時まで)

**宮前区役所** 2階ロビー 及び  
4階地下展示コーナー

**後援** 川崎市教育委員会・宮前区役所  
朝日新聞社川崎支局・読売新聞社川崎支局・東京新聞川崎支局  
神奈川新聞社川崎総局・毎日新聞社川崎支局・マガジニュース社

主催/平和のための原爆展実行委員会 連絡先/ 044-855-0865 田中克雄 044-865-7637 今川 川崎市平和推進補助事業承認

発行：宮前区「平和のための原爆展」実行委員会

2010年4月

お問い合わせ・連絡先 / 田中 044-855-0865 (TELのみ)  
今川 044-865-7637 (TEL・FAX)  
miyamaeheiwa@yahoo.co.jp